



【学校教育目標】

人間性豊かで、自ら考え、行動できる生徒を育成する

【校訓】 自主・創造・協力

めざす学校の姿

笑顔と希望にあふれる学校

めざす生徒の姿

美しいものに感じ、自分も他者も大切にする生徒

子どもにつけたい力

確かな学力の
定着

I 問題や変化に対して仲間とともに主体的に学び続ける子どもを育成する。そのために、
①学び続けられるよう、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業づくりを行う。
②生きて働く知識・技能が習得でき、未知の状況にも対応できる思考力・判断力・表現力等を育成できる授業づくりを行う。
③読解力・表現力を高められるよう、授業での言語活動を充実させる。
④ICTを効果的に活用するとともに、情報活用能力の習得を目指す。
⑤家庭学習の習慣化につながる課題づくりや授業展開の工夫を行う。
⑥学習意欲の向上を図る学習評価の研究を進める。

健全な育成
いじめるからだと

II 美しいものに感じ、自分も他者も大切にする豊かな人間性を育成する。そのために、
①自己存在感、自己有用感を感じる機会を通し、自分も他者も大切にする心を育成する。
②知識、想像力、思考力を正しく身に付け、人権教育を充実させるとともに、多様な人権を尊重し、いじめや差別を許さない仲間づくりを行う。
③日々の授業や学校生活、学校行事を通して、共感的な人間関係を育成する。
④SNSとの関わり方について、学んだり振り返ったりする機会を計画的に設ける。
⑤特別の教科「道徳」を要とした道徳教育を充実させる。
⑥心身ともに健康でたくましく生きるための体力の向上を図る。
⑦身近な問題を話し合い、自分たちで考え、決め、実践する経験を通して自己決定力を養う。
⑧教育相談を充実させ、スクールカウンセラーとの連携を密にする。
⑨ガイドラインに沿った部活動を充実させるとともに、地域移行に向けた取組を進める。

よりよい未来を
創造する力の育成

III 未来の自分を想像し、未来の自分を創造していく力を養う。そのために、
①キャリア教育の視点を取り入れた教育活動を進める。目標を立て計画的に物事に取り組ませたり、自己決定の場や自分を見つめる機会を多く取り入れたりし、自己の役割を自覚し、果たすこと等を通し、キャリア発達を促す。
②より良い生活習慣の定着に向けた取組を進める。また、規範意識の向上と自律心を養う。
③協働的な学びや活動を通し、対話力、コミュニケーション能力を育成する。(含山中トーク)
④「持続可能な社会の創り手を育む」というSDGsの視点を取り入れた教育活動を進める。
⑤地域資源を生かした教育活動を推進する。【地区防災会と連携した防災教室、社会福祉協議会等と連携した福祉体験教室、職場体験学習、地域学習、安心安全教室、地区文化祭等】

子どもの能力を
伸ばす学校組織

IV 一人ひとりの子どもを大切に、個に応じた学びを保障する。そのために、
①生徒指導委員会や生徒会指導を中心に、だれにとっても生活しやすい学校環境を目指す。
②特別支援教育委員会を中心に、組織的で、きめ細やかな対応を全職員で行う。
③校内登校サポート教室を機能させ、登校や教室復帰、進路選択に向けた支援を充実させる。
また、スクールカウンセラーや関係機関と連携し、不登校の未然防止や早期対応に努める
④特別な支援が必要な子どもの実態や状況に応じ、可能な支援を提供する。タブレット端末の活用も進める。
⑤個に応じた指導や支援が行えるよう、関係機関や専門家と連携を強化する。

学校教育力の
向上

V 学校教育力を向上させる。そのために、
①コミュニティスクール運営協議会と連携し、地域とともにある学校づくりを進める。
②保護者、PTA、地域に積極的に発信し、信頼を得る。(学校通信、学年通信、HP、H&S等)
③校区の園、小学校と連携・連絡を密にし、子どもたちのより良い成長につなげる。
④安全な学校づくりに向け、校内の施設や設備の改善を進める。
⑤教育委員会等と連携し、校内研修の充実を図り、教職員の資質向上を目指す。
⑥人間性や創造性を高め、効果的な教育活動が行えるよう、教職員の働き方改革を進める。

教師の行動指針

・積極的なあいさつ、言葉がけ ・カウンセリングマインド ・自己決定の場の提供

子どもの
学びを支える
学校づくり